

平成 28 年度予算のあらまし

1 財政規模（一般会計当初予算比較）

（単位：百万円）

平成 28 年度	平成 27 年度	増減額	増減率
259,968	244,597	15,370	6.3%

2 予算編成の基本的考え方

『みどりの風吹くまちビジョンに基づく初の本格予算』

編成のポイント

- (1) 「みどりの風吹くまちビジョン アクションプラン」を着実に推進
- (2) 持続可能な財政基盤の構築

区は、昨年 3 月に新しい区政運営の方向性を示す「みどりの風吹くまちビジョン」を、6 月には、ビジョンの実実施計画であるアクションプランを策定した。ビジョンでは、区政が直面する重要課題について、政策を総合的、体系的に示した。

現在、ビジョンに掲げた政策を実現するための具体的な仕組みや態勢を、区民の視点から改めて見直す「区政改革」に取り組んでいる。その一環として 12 月には、区民とともに「練馬区の『これから』を考える資料」を作成、公表した。区民の皆さま、区議会のご意見を伺ったうえで、本年中に「(仮称)区政改革計画」を策定する。

平成 28 年度当初予算は、ビジョン、アクションプランに基づき編成する初めての本格予算である。編成にあたっては、ビジョンおよびアクションプランに掲げた事業の進捗状況をチェックし、着実に推進することを最優先とした。その上で、計画事業にとどまらず、施策を一層推進させる新規事業も積極的に予算化した。また、区政改革について、区民サービスの向上や区政への区民参加の促進などに年度当初から取り組むこととした。

一方、持続可能な財政運営を堅持する観点から、歳入面では、国・都の財源活用に努めた。社会資本形成に資する事業においては、後年度負担に配慮しつつ、起債を積極的に活用した。歳出面では、枠配分予算においてゼロシーリングを徹底し、事業の必要性や財政的効果の把握に留意するなど事業の精査を行った。さらには中長期を見据えた備えとして、新たな特定目的基金を創設するなど基金の見直しを行った。

3 ビジョンに掲げた施策の柱と重点的取組

(1) 施策の柱ごとのアクションプラン事業予算額 (単位：百万円)

施策の柱	金額
I 子どもの成長と子育ての総合的な支援	5, 139
II 安心して生活できる福祉・医療の充実	2, 306
III 安全・快適な都市の実現に向けた基盤整備	10, 125
IV 練馬区の魅力を楽しめるまちづくり	5, 215
V 新たな区政の創造	3, 946
合計	26, 731

(2) 施策の柱ごとの重点的取組 (新規事業は★印、充実事業は○印)

I 子どもの成長と子育ての総合的な支援 [5, 139百万円]

1 妊娠前からの支援の充実

159 百万円

安心して産み育てることができるよう、妊娠期間中や出産直後の早い段階から相談・情報提供の機会を増やすなど切れ目のない支援を行う。

- ★妊娠子育て応援メールの配信開始 (予防接種サポートシステム含む) [2百万円]
- ★妊娠・子育て相談員による妊婦全員面談・支援プランの作成 [17百万円]
- ★妊娠・育児応援品 (1万円相当のカatalogギフト) の配布 [88百万円]
- ★産後ケア事業の開始 [19百万円]
- 妊婦健診項目の追加 (H I V抗体検査、子宮頸がん検査) [31百万円]
- ★パパ向け育児支援DVDの作成 [1百万円]
- ★男性不妊治療費の助成 [1百万円]

2 家庭での子育て支援の充実

119 百万円

育児不安や保護者の孤立から起因する子育て相談へのニーズは高まっている。多様な子育てサービスを提供し、安心して子育てできる環境を充実させていく。

- すくすくアドバイザーの配置拡大 (1か所⇒3か所) [14百万円]
- 多様な子育てサービスの充実 [105百万円]
 - ・乳幼児一時預かり事業の定員拡大
 - ・ファミサポホームの増設 (4か所⇒6か所)
 - ・子育てのひろば増設 (22か所⇒24か所) ・開設時間拡大
 - ・「おひさまびよびよ」の増設 (4か所⇒6か所)

3 練馬こども園や認可保育所等の拡充

860 百万円

子どもの教育や保育について保護者の選択の幅が広がるよう「練馬こども園」の認定を進める。待機児童対策については「子ども・子育て支援事業計画」の計画数を前倒しし、平成 27・28 年度の 2 か年で保育所の定員拡大を集中的に行っており、29 年 4 月の待機児童解消を図る。また平成 28・29 年度で区立豊玉保育園の改築を行い、定員増を図る。

- 練馬こども園の認定拡大（新規認定 5 園） [7 百万円]
（私立幼稚園における長時間預かり保育の拡大）
- 保育所等の拡充 [569 百万円]
（私立認可保育所 3 か所、地域型保育事業所 10 か所新設等）
- ★区立豊玉保育園の改築 [284 百万円]

4 支援が必要な子どもと家庭への取組みの充実

204 百万円

ひとり親家庭の半数以上が生活困窮世帯であり、就労支援など相談体制の強化が求められている。また、不登校や家庭環境等により学習が遅れがちな児童生徒への支援を行うなど貧困の連鎖を解消する取組を進めていく。また障害のある児童について、特別支援教室の充実を図る。

- 母子・父子自立支援員兼婦人相談員の増員（4 名⇒8 名） [15 百万円]
- ★ひとり親家庭等ニーズ調査の実施 [5 百万円]
- ★学校教育支援センター仮称大泉分室の開設（平成 29 年 1 月） [121 百万円]
- スクールソーシャルワーカーの増員（4 名⇒6 名） [7 百万円]
- 中学 3 年生勉強会の充実（3 か所⇒5 か所） [29 百万円]
- 全小学校への特別支援教室の開設（平成 28～30 年度） [27 百万円]

その他新規・充実事業

- 総合教育会議による教育行政のさらなる活性化 [1 百万円]
- 家庭・地域の力を活かした学校運営や教育活動の推進 [180 百万円]
- 校内 LAN の敷設 [286 百万円]
- 小中学校校舎等の改築の推進 [3, 081 百万円]
- 民間学童保育の支援と育成 [44 百万円]
- ★「ねりっこクラブ」の実施 [184 百万円]
- 学校外学童クラブへの移動の安全強化 [2 百万円]

Ⅱ 安心して生活できる福祉・医療の充実〔2, 306百万円〕

1 区民とともに地域で高齢者を支える仕組みづくり

1,054 百万円

地域包括ケアシステムの確立に向け、健康増進、介護予防等への自主的な取り組みの促進や、地域の実情に応じたサービスの担い手となる人材の確保が必要である。

そこで、区独自の人材創出、育成事業に取り組むほか、高齢者向けサービスの拠点を整備する。さらには、地域団体等との協働により、これまで介護予防に取り組めていなかった方へのきっかけづくり、仲間づくりを支援する。

★訪問型サービス従事者養成研修の実施	〔3 百万円〕
★介護分野の求人・採用活動等支援	〔5 百万円〕
★介護職員初任者研修受講料の助成	〔3 百万円〕
★主任ケアマネジャー研修の実施	〔1 百万円〕
★（仮称）大泉高齢者センターの整備（平成 29 年 4 月開館）	〔944 百万円〕
★シルバーサポート事業の開始	〔1 百万円〕
○介護予防教室・講座（筋力向上トレーニングほか）の充実	〔72 百万円〕
★地域団体との協働による体力測定会「はつらつシニアクラブ」の実施	〔9 百万円〕
★街かどケアカフェの開設（谷原出張所内）	〔13 百万円〕
★高齢者相談センター支所の移転・強化（2 か所）	〔3 百万円〕

2 障害者の地域生活・活動支援の充実

30 百万円

障害者が住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、障害者グループホームの需要動向等を調査するとともに、補助制度を活用し整備計画を着実に推進する。また、障害者の有無にかかわらず誰もがスポーツを楽しめる環境づくりに取り組む。

★障害者グループホームニーズ調査の実施	〔4 百万円〕
○障害者グループホーム施設整備費補助金の交付	〔3 百万円〕
★障害者グループホーム消防設備整備費補助金の交付	〔20 百万円〕
★障害者差別解消の推進	〔1 百万円〕
★（仮称）ユニバーサルスポーツフェスティバルの開催	〔2 百万円〕

3 安心して医療を受けられる環境の整備

141 百万円

練馬区における人口 10 万人あたりの一般・療養病床数は 23 区平均の 3 分の 1 となっている。既存病院の増床や新たな病院の誘致を進めることで、区民が安心して医療を受けられる環境を整備していく。

○病院整備支援制度による整備促進

★新病院（大泉学園町）の整備（事業者への支援） [135 百万円]

★医療環境現況調査の実施 [6 百万円]

○順天堂練馬病院の増床（石東中体育館移転工事等）

○練馬光が丘病院の改築

★医療環境整備基金の創設による病院整備の促進 [※]

※事業費は「V 新たな区政の創造」に計上

その他新規・充実事業

★要援護者の安否確認体制の強化 [2 百万円]

★バリアフリーマップのデジタル化 [※]

※事業費は「V 新たな区政の創造」に計上

○こども発達支援センター医療相談体制の充実 [9 百万円]

★女性のがん検診受診促進事業 [2 百万円]

★高齢者の摂食・えん下機能支援センターの設置・運営 [2 百万円]

★災害時医療救護所従事看護師登録制度の開始 [1 百万円]

Ⅲ 安全・快適な都市の実現に向けた基盤整備〔10,125百万円〕

1 大江戸線延伸の促進と延伸地域のまちづくり

1,034 百万円

平成27年度末に国の交通政策審議会が東京圏における交通体系を示す答申をまとめる予定である。その内容を踏まえて事業着手に向けた具体的な準備を進める。

- 沿線地域のまちづくり等 [25 百万円]
- 延伸促進活動の充実（促進大会の開催等） [7 百万円]
- 大江戸線延伸推進基金の積立 [1,002 百万円]

2 都市計画道路等の整備と無電柱化の推進

2,667 百万円

区内の都市計画道路の整備率は50.3%と23区平均の64.2%を大きく下回っている。道路整備を進めることで渋滞の緩和、防災性の向上、安全・安心な歩行空間の確保、みどりのネットワークの充実など、快適な都市環境を創出する。また、災害時の電柱倒壊による道路閉塞を回避するとともに良好な都市景観の形成に向け、無電柱化を進める。

- 都市計画道路の整備（7区間） [1,389 百万円]
- 無電柱化の推進 [9 百万円]
- 生活幹線道路の整備（7区間） [1,269 百万円]

3 自立分散型エネルギー社会の実現に向けた取り組みの推進

83 百万円

住宅都市としての地域特性に沿って、練馬区にふさわしい自立分散型エネルギー社会の将来像と実現に向けた取り組みの方向性を明らかにする「練馬区エネルギービジョン」を本年3月に策定する。災害時のエネルギーセキュリティの確保、分散型エネルギーの普及拡大、省エネルギー化の推進、区民とともに進める取組の4つの視点に基づき区民・事業者とともに施策を推進する。

○燃料電池自動車の導入(2台目)	[1百万円]
★電気自動車等災害時協力登録車制度の創設	[2百万円]
★外部給電設備の医療救護所への配備	[1百万円]
★災害拠点病院と近隣医療救護所における地域コジェネレーションシステム創設に向けた検討	[10百万円]
○再生可能エネルギー・省エネルギー設備設置補助制度の拡充	[69百万円]

その他新規・充実事業

○備蓄物資の充実および倉庫整備	[152百万円]
○空き家等対策の推進(★空き家等対策計画の策定)	[6百万円]
○(仮称)大泉リサイクルセンターの整備	[826百万円]
○密集住宅市街地整備促進事業の推進	[799百万円]
○地域生活を支える駅周辺のまちづくり (石神井公園駅、上石神井駅、武蔵関駅、上井草駅、保谷駅)	[39百万円]
○外環道および外環の2沿道地区のまちづくりと外環の2の整備促進	[7百万円]
○公共交通空白地域改善の推進	[6百万円]
○西武池袋線連続立体交差事業および鉄道附属街路整備事業	[616百万円]
○西武新宿線の立体化促進	[10百万円]
○建築総合情報システムの構築	[60百万円]
○建築物の耐震化	[943百万円]
○都市インフラの計画的更新	[1,213百万円]
○雨水貯留浸透施設の増設等水害対策の強化	[134百万円]
○自転車駐車場の整備	[191百万円]

IV 練馬区の魅力を楽しめるまちづくり〔5, 215百万円〕

1 意欲ある個店や商店街への支援の充実

28 百万円

商店街を構成する個店の魅力を高めるため、個店同士で連携する意欲ある取組（商品開発やイベント等）や事業継承時の店舗改修等を支援し、顧客獲得や売上向上につなげる。また、商店街同士の連携強化を進め、複数の商店街が合同で行う地域の特色を活かした取組を支援し、商店街を含むまち全体のブランド力を生み出す。

- ★お客が集まる個店づくりへの支援 [10 百万円]
- ★商店街特色づくりへの支援 [18 百万円]

2 練馬の都市農業の魅力を発信

34 百万円

練馬の都市農業の振興のため、練馬産農産物のブランド名の決定に向けた検討に着手する。果樹あるファーム事業については、平成 29 年度のモデルケース整備に向けた検討を行う。駅や区役所での直売イベントの開催や即売会「ねりマルシェ」の拡充等により、練馬産農産物の魅力を発信する。また、世界都市農業サミット開催に向け、検討を開始する。

- ★練馬産農産物ブランド化の推進 [7 百万円]
- 果樹あるファーム事業の推進 [5 百万円]
- ねりマルシェ等事業の推進 [4 百万円]
- ★世界都市農業サミット開催に向けた検討・調査・研究 [18 百万円]

3 区民と一体となった賑わいの創出

260 百万円

練馬まつり、練馬こぶしハーフマラソンを始めとしたさまざまなイベントを区民と一体となって推進し、練馬の魅力をさらに高め、賑わい創出につなげていく。長野県上田市との友好都市提携 10 周年を記念して、区民交流を一層深めるため、照姫まつりの連携、友好都市促進物品を使った PR などを行う。また、区独立 70 周年プレイベント事業として、区立石神井松の風文化公園で「薪能」を開催する。

- ★友好都市交流促進 PR の実施 [5 百万円]
- 練馬まつり・照姫まつりの実施 [116 百万円]
(アニメイベント・産業見本市の実施経費含む)
- ★(仮称)「石神井松の風薪能」の実施 [17 百万円]
- 練馬こぶしハーフマラソンの実施 [122 百万円]

4 みどりあふれるまち練馬の実現

4,073 百万円

練馬区の魅力は、みどりの豊かさと大都市の利便性が両立しているところにある。現在に受け継がれた貴重なみどりを守り、さらに増やし、未来へつなぐために、より積極的、効果的なみどり施策を展開し、みどりあふれるまち練馬を実現する。

- ★みどり施策の新たな考え方の構築 [45 百万円]
- 民有樹林地の保全 [4 百万円]
- ★憩いの森の保全・育成に向けた区民協働の推進 [2 百万円]
- 特色ある公園の整備 [4,022 百万円]
 - ・四季の香ローズガーデン ・(仮称) 清水山公園
 - ・(仮称) 中里郷土の森緑地 ・(仮称) 練馬総合運動場公園
 - ・千川上水緑道

その他新規・充実事業

- ★アニメ産業への支援 [8 百万円]
(アニメコンペティションの開催等)
- 創業への総合的な支援の充実 [60 百万円]
(空き店舗入居促進事業等)
- 文化芸術振興基金の創設 [※]
※事業費は「V 新たな区政の創造」に計上
- 身近でスポーツを楽しめる環境の整備 [560 百万円]
(大泉さくら運動公園多目的運動場屋外照明等設備設置、関越自動車道高架下スポーツ施設整備)
- ★みどりの美しい街並みづくり(みどりのアドバイザー派遣事業) [1 百万円]
- 子どもたちが楽しめる体験型事業の拡大 [38 百万円]
- 街路樹の診断・更新 [13 百万円]
- シェアサイクル導入に向けた取組の実施 [9 百万円]

V 新たな区政の創造〔3,946百万円〕

1 区政改革の取組み

3,946 百万円

区政への区民参加の促進や ICT を活用した区民サービスの向上などに新年度当初から取り組む。また、施策の推進と持続可能な財政運営の両立を図るため、新たな基金を創設するなど基金の見直しを行う。

- | | |
|------------------------------|-------------|
| (1) 区民参加で開かれた区政をさらに推進 | |
| ★区政改革計画の策定 | [2 百万円] |
| ★ねりまちレポーターの開始 | [4 百万円] |
| よりどりみどり練馬PRサポーター | [1 百万円] |
| (2) 区民サービスにICTをさらに活用 | |
| ★コンビニでの証明書発行 | [28 百万円] |
| ★タブレット端末を活用した通訳サービス | [1 百万円] |
| ★バリアフリーマップのデジタル化 | [5 百万円] |
| ★地域資料のデジタル化 | [5 百万円] |
| (3) 財政基盤の強化 | |
| ★新たな基金の創設（文化芸術振興基金、医療環境整備基金） | |
| | [3,900 百万円] |

4 今後の財政運営の見通しと課題

わが国の経済情勢は、雇用・所得環境の改善傾向が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復に向かうことが期待されている。ただし、中国を始めとする海外景気が下振れし、わが国の景気が下押しされるリスクがあり、予断を許さない。

国は、平成 26 年度税制改正において、都市と地方に税収の格差があることを理由に、地方税である法人住民税の一部を国税化し、地方交付税の原資とする見直しを断行した。これにより練馬区の基幹的歳入である特別区財政調整交付金は毎年 50 億円を超える減収となる。先般、政府が決定した平成 28 年度税制改正では、平成 29 年度から法人住民税の国税化が拡大されることとなり、区の歳入は、さらなる減収を余儀なくされる。また、企業版「ふるさと納税」制度の創設、消費税の軽減税率の導入なども少なからず区の歳入にマイナスの影響をもたらすこととなる。

このような状況下における当面の区財政の見通しは、歳入面では、区税および地方消費税交付金において一定の伸びが期待できるが、特別区財政調整交付金は、法人住民税の一部国税化の影響を受け、対前年比でマイナス傾向が続くものと見込まれる。

歳出面では、少子高齢化の進展により扶助費をはじめとした社会保障関係経費の増大が不可避である。また、公共施設の改修改築経費の急増にも対処していくことが必要になる。このため、区の財政運営はさらに厳しさを増すことが確実である。

厳しい財政状況の下、持続可能な財政運営を堅持していくため、事務事業の不断の見直しを進めるとともに、収納対策の強化、特定財源の活用をはじめとした財源の確保に努めていく。